

こどもの命、守っていますか？

抱っこしてるのが一番安全？

車が衝突した時、抱っこしている赤ちゃんの体にかかる力は何百キロにもなります。人の力で支えるなど無理なのです。

シートベルトさえすれば安心？

シートベルトは大人の体格に合わせて作られたもの。子どもがシートベルトをつけていても車がぶつかった時、その衝撃で体がすり抜けて天井に頭からたたきつけられることも。

「目が届くから助手席」は大丈夫？！

助手席に乗せていて、エアバックが開いた場合その衝撃で体が圧迫され、命を落とすことも。

「嫌がるから」で納得できますか？

チャイルドシートに乗らずに後部座席に立っていると衝突時に子どもの体はあらゆるところにぶつかります。フロントガラスを突き破って外に投げ出されることも。事故に遭って子どもがこういった状況になったとき、あなたは自分に言い訳ができますか？

どちらもとても危険です！

大人と子どもは明らかに体の大きさがちがいます。大人と同じ感覚で安易に「大丈夫」だと安心しないでください。子どもの体格に合った、チャイルドシートやジュニアシートを！



チャイルドシートは後部座席に！

子どもの手が伸びて運転を妨げたり、おかあさん自身も運転に集中できないはず…後ろでぐずっても話しかけてなだめましょう！



シートまわりをすてきな空間に☆

子どもが乗りたがるようにシートまわりを工夫しましょう。ベルトの不快を解消したり、楽しくなるような便利グッズも使ってみましょう！



＜交通事故で子どもが亡くなる危険性＞
不使用時は、使用時に比べて約4倍高くなります。

おむかえに来られるおじいちゃんおばあちゃんへ

お迎えに来られる祖父母の車のほとんどがチャイルドシートを設置していません。「毎日乗せるわけではないから」「ちょっと迎えに行くだけだから」というのが理由ですか？たいせつなお孫さんのために、ご家族で話し合って、ご自分の車にも必ず設置してください。お孫さんにチャイルドシートに乗らないとどうして危ないのかしっかり教えてください。



子どもの「イヤイヤ！」に負けないで☆

「チャイルドシートに乗らないとどうして危ないのか」ということをお子さんが理解するまできちんと教えてください。

理由が分かれば、子どもはちゃんと着けてくれます。

